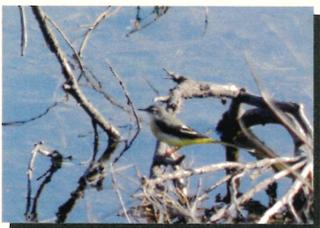


周辺で出える動植物



【キセキレイ】
 溪流沿いなどに好んで生息し、腹部から尾にかけて、鮮やかな黄色をしています。「チチン、チチン」と鳴き、冬によく見ることができます。



【オオルリ】
 溪流沿いなどに好んで生息し、雄は光沢のある青色で、尾の基部に白斑を持ちます。「ピールリー ポーリー ビビッ キギキッ」というさえずりが夏によく聞かれます。



【タマアジサイ】
 山地や川沿いに咲くアジサイです。蕾が球形であることから「タマアジサイ」と名づけられました。花は夏に見ることができます。



【サワガニ】
 水がきれいな沢や小川に生息する純淡水性のカニです。千葉県南部に生息するものの中には甲羅が青いものもいます。春から秋によく見ることができます。



【カジカカエル】
 山地の溪流や、湖とその周辺の川原、森林に住むカエルです。繁殖期の4月から8月にかけて雄が発する鳴き声は、古来から「河鹿」と言われ親しまれています。



【ハンミョウ】
 体長2cmほどで全身が赤、青、緑に輝く、脚の長い美しい甲虫です。「道教え」という名でも有名で体からは独特の芳香を発生します。春から秋によく見ることができます。



自然探勝ルートパンフレット 梅ヶ瀬溪谷・大福山



【日高邸跡】



県内有数の紅葉の名所と言われています。「梅ヶ瀬」の名付け親でもある日向国（現在の宮崎県）高鍋藩出身の漢学者・日高誠実（ひだかのぶざね）の屋敷跡には、樹齢百年といわれるカエデの大木がひっそりとそびえ、落葉の時期にはあたり一面を真っ赤に彩る幻想的な姿を見せてくれます。

【梅ヶ瀬溪谷】



梅ヶ瀬溪谷は、養老川支流の梅ヶ瀬川が丘陵を浸食してできたものです。川幅は4.5mで急な流れもなく、ほとんどが浅瀬です。道の両側には、高さ30~50mある梅ヶ瀬層と呼ばれる浸食断層が約80mにわたって見られ、深い緑と、涼しげな流れと共に見事な渓谷美を描いています。

【大福山】



標高285mの「大福山」は房総丘陵のほぼ中央に位置し、市原市の最高点です。大福山から北へ伸びる尾根には、常緑広葉樹林と落葉広葉樹林が混交した自然性の高い樹林が形成されており、大福山展望台からは房総の山々が一望できます。

【養老溪谷温泉】



ハイキングの後は、養老溪谷温泉で疲れを癒しましょう。養老溪谷温泉特有の「黒湯」や地元の食材、郷土料理を楽しめます。

ハイキングを楽しむための装備

※ ヤマビルやスズメバチから肌を守るため、肌の露出は避けてください。

- ☑ 長袖長ズボン
肌の露出を避けてください。
- ☑ 厚みのある靴下
- ☑ 長靴が履き入れた靴
スポンの履を長靴に入れてガムテープを貼ればヤマビルの侵入を防げます。
- ☑ 帽子
- ☑ タオル
- ☑ 飲料
- ☑ ヤマビル忌避剤や虫よけスプレーなど



※ ヤマビルにかまれたら…

無理にヤマビルを引っ張ると、傷口を広げる恐れがあります。消毒用アルコールや食塩、食酢をかけるか、虫よけスプレーをかければヤマビルはすぐに落ちます。2~3時間ほど出血が止まらないため、きれいな水で洗い、ガーゼや包帯などで傷口を保護してください。



※ サル、イノシシ、マムシ、シカ、スズメバチなどに遭遇したら…

自然豊かな本地域には、ヤマビルやスズメバチの他に、サル、イノシシ、シカ、マムシなどの野生の生物がいます。遭遇したときは相手を刺激せず、その場から離れてください。

梅ヶ瀬ハイキングコース
 (12km)
 休憩なしで約4時間

大福山自然歩道コース
 (3.5km)
 休憩なしで約2時間

里山コース
 (2.5km)
 休憩なしで約45分

養老溪谷駅 → 女ヶ倉 → 大福山展望台 → もみじ谷 → 日高邸跡 → 養老溪谷駅
 ★梅ヶ瀬溪谷、大福山を満喫できる歩き応え十分のコースです。

梅ヶ瀬溪谷駐車場 → 中央分岐 → 黒の洞門(愛称) → 石塚分岐 → 白鳥神社口 → 梅ヶ瀬溪谷駐車場
 ★平成28年からの新ルートです。新たな名所を発見できるかも？

養老溪谷駅 → 宝林寺 → 宝衛橋 → 黒川沼 → 渓谷橋 → 養老溪谷駅
 ★舗装された道を歩くルートです。箱庭のような里山風景が楽しめます。

